

戦 評 用 紙

平成 29 年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会埼玉県予選

平成 29 年 6 月 24 日 (土)

会場 春日部総合体育館

第 1 試合

対戦	市立川越 高校	1 6	—	2 3	山村学園 高校
	4 8	9	—	2 5	9 7
		7	—	2 8	
		1 6	—	2 1	

決勝リーグ第 1 戦、新人戦ではベスト 4 かけた戦いを行った両チーム。市立川越は前回のリベンジを果たせるか。

第 1 P 両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。高さに勝る山村学園はペイントエリアにボールを集め、攻撃を仕掛けていく。一方、市立川越は相手の高さを抑えるために 3 人がかりでゴール下を守るなど、足を生かしたディフェンスを行う。先制は山村学園。# 7 のジャンプシュートを皮切りに # 4 のゴール下や # 5 の 3 P で得点を重ねる。市立川越は山村学園のプレッシャーのあるディフェンスに良い流れをつくれずにいたが、# 1 1 のドリブルレイップをきっかけに # 1 7、# 4 の 3 P で応戦する。市立川越に勢いがつきそうだったが、終盤山村学園の # 5 の 3 P と # 4 のゴール下の連続得点により点差を離し、1 6 - 2 3 で終了。

第 2 P 点差を縮めたい市立川越だが、山村学園のプレッシャーも強く、外角のシュートが多く、オフェンスが単調になる。一方、山村学園は徹底してペイントエリア内を攻め続け、ディフェンスが中を守りに行けば、外角にパスをさばき、いいリズムでオフェンスを展開していく。市立川越も必死にディフェンスやリバウンドボールを飛びつきに行くが、山村学園がリバウンドを制し、試合を進めていく。2 5 - 4 8 山村学園リードで前半終了。

第 3 P 市立川越はゾーンディフェンスに変えるが、山村学園の勢いは止まらない。# 5 の 3 P や # 4 # 1 1 ゴール下での得点で点差を広げていく。市立川越は # 1 5 のバスケットカウントをもらったり、# 4 # 5 のジャンプシュートで得点を決めるが、3 2 - 7 6 と大差がついて第 3 P を終了する。

第 4 P 山村学園はベンチメンバーになり、# 9 と # 1 5 がゴール下の合わせなどで得点していく。市立川越は # 4 の鋭いカットインで得点に絡む。2 分で市立川越もスタートメンバーを交代し、ベンチメンバー同士の戦いとなる。市立川越はオールコートディフェンス、山村学園も激しいディフェンスから速攻などで得点を取り、最後までお互いよく走ったゲームであった。4 8 - 9 7 で山村学園が決勝リーグ 1 戦目を勝ち取った。

(記入者：津留崎 治子)